

科目名	授業名	担当教員
ビジュアルデザインⅢ	ビジュアルデザインⅢ	渡邊 勝則、山田 綾乃
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	4単位
科目のねらい		
それぞれ与えられた課題を手書きアナログを意識しヴィジュアルを作成。PC用ソフト イラストレーター、フォトショップを用いて目を引くビジュアルデザインを行うことを目的とする。競合他社に差をつける、アピール上手で効果の高いビジュアル表現を学ぶことを目的とする。また、国際的なコンペティションに参加することで、自分の現在の实力を知る。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。 1. 現代のビジュアルデザインの重要性。ビジュアルデザインとは？！ 目を引くビジュアルデザインとは？！ 記憶に強く残るビジュアルテクニックを学びます。 例）ピカソに学ぶ。青の時代と赤の時代。企画力と構成力、アイディア、ヒントを学ぶ。		
授業終了時の到達目標		
1. 消費者にしっかり見てもらえる、記憶に強く印象付けることができる作品を習得する 2. 考え抜く力（・課題発見力 ・計画力 ・想像力 ・ユーモア） 3. 前に踏み出す力（・主体性 ・働きかけ力 ・実行力） 、4. チームで働く力（・発信力 ・傾聴力 ・柔軟性 ・状況判断力 ・規律性 ・ストレスコントロール力）		
回	テ ー マ	内 容
1	(1)科目の狙い、(2)到達レベル、(3)講義計画等の説明（30分） 【オリエンテーション】この授業の目的と意味を伝える。・ヴィジュアルデザインの表現の重要性。・ポスターデザインと広告デザインとの違い。・ミーティング（次回の講義について）。テーマ	目を引くビジュアルデザインの重要性をプロジェクターを使用して解説をします。ポスターデザインとは！視覚を刺激する。ユーモアで伝える。違和感を与える。驚かせる。ビジュアルについて説明をします。また、1年生で学んでいない印刷に関してもポスターの制作工程として説明をします。ポスター
2	【印刷用紙について】先週のオリエンを含めて、テーマにそったアイデアを計画する。そのために、最終仕上げによるポスター用紙について	特殊印刷を考えた印刷用紙を学びます。学校近くの平和紙業（ヴェラム）に移動して紙の知識を学びます。どの印刷には使用できる紙なども含めて。
3	【アイデア】テーマにそったアイデアを計画する。そのためには、デジタル印刷工程を学び、終着点を創造しアイデアを考える。	デジタル入稿の際の印刷工程を学びながら、データの作成方法、仕上げイメージを考えながら学生に指導していきます。
4	【アイデア】テーマにそったアイデアを計画する。2案	視覚、ユーモアを与えるビジュアルについてプレストをしながら学生に指導していきます。ラフデザインを制作。
5	【アイデア】テーマにそったアイデアを計画する。2案	2つの感情（赤と青）。ビジュアルについてプレストをしながら学生に指導していきます。ラフデザインを制作。
6	【デザイン】 ポスターデザインの制作を行う。サイズB1タテ2点	メインヴィジュアルは手書きを中心に制作を進めます。
7	【デザイン】 ポスターデザインの制作を行う。サイズB1タテ2点	メインヴィジュアルは手書きを中心に制作を進めます。
8	【デザイン】 ポスターデザインの制作を行う。サイズB1タテ2点	メインヴィジュアルは手書きを中心に制作を進めます。

回	テ ー マ	内 容
9	【デザイン】 ポスターデザインの制作を行う。サイズB1タテ2点	メインヴィジュアルは手書きを中心に制作を進めます。
10	【デザイン】 ポスターデザインの制作を行う。サイズB1タテ2点	メインヴィジュアルは手書きを中心に制作を進めます。
11	【デザイン】 ポスターデザインの制作を行う。サイズB1タテ2点	メインヴィジュアルのチェック。
12	【デザイン】 ポスターデザインのタイポグラフィについて	メインヴィジュアルとタイポグラフィの関係性。フォントとレイアウト
13	【デザイン】 ポスターデザインのタイポグラフィについて	メインヴィジュアルとタイポグラフィの関係性。フォントとレイアウト
14	印刷工程の確認。レイヤー分けの必要性を学ぶ。	2週目に紙を学んだ事に対し、特殊印刷の工程を再確認し、デザインデータを作成する。B1データをA4データに変更し印刷会社に入稿までを学びます。また、デジタルプリントとしてB11点もデジタルプリント会社に入稿します。
15	<発表>	B12点（1点は原寸、1点は縮小特殊印刷）を発表
16	<オリジナル>	企画テーマにそったヴィジュアルの制作を行う オリジナルな素材を制作
17	<オリジナル>	企画テーマにそったヴィジュアルの制作を行う オリジナルな素材を制作
18	<オリジナル>	企画テーマにそったヴィジュアルの制作を行う オリジナルな素材を制作
19	<オリジナル>	企画テーマにそったヴィジュアルの制作を行う オリジナルな素材を制作
20	<オリジナル>	企画テーマにそったヴィジュアルの制作を行う オリジナルな素材を制作
21	<構成>	<編集制作> ・ラフデザインにそってDTPによる編集制作を行う。
22	<構成>	<編集制作> ・ラフデザインにそってDTPによる編集制作を行う。

回	テ ー マ	内 容
23	<構成>	<編集制作> ・ラフデザインにそってDTPによる編集制作を行う。
24	<構成>	<編集制作> ・ラフデザインにそってDTPによる編集制作を行う。
25	<構成>	<編集制作> ・ラフデザインにそってDTPによる編集制作を行う。
26	<最終工程から完成>	最終仕上げを行う 紙の選出、素材の決定 プリント、特殊印刷などのデータ制作
27	<最終工程から完成>	最終仕上げを行う 紙の選出、素材の決定 プリント、特殊印刷などのデータ制作
28	<最終工程から完成>	最終仕上げを行う 紙の選出、素材の決定 プリント、特殊印刷などのデータ制作
29	<発表>	<プレゼンテーション>・ビジュアルマガジンを発表
30	<発表>	<プレゼンテーション>・ビジュアルマガジンを発表
教科書・教材		
なし		
予習・復習		
各授業で指示する		
評価項目（評価の方法）		
【評価の観点】授業態度、提出された作品によって総合的に判断する。但し、出席率が８０％に満たない場合、課題提出がされていない場合は単位を認めない。 【評価項目（評価の方法）】：企画、アイデア－20%、 クリエイティブ－40%、 授業に対する姿勢－20%、個－10%、その他－10%。		
その他		
【受講ルール等】指定された場所へ必ず提出、後日提出は受け取らない。（指定された日に提出が不可能な場合は、理由を講師に報告の上、提出日以前に提出。）企画書及び作品は必要に応じその枚数（部数）を出力・製本して提出。		

科目名	授業名	担当教員
アドバイジングデザインⅡ	アドバイジングデザインⅡ	安江 由実子
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	2単位
科目のねらい		
インターネットの媒体に掲載される広告の種類、効果の出る手法を学ぶ。その企業の商品やイベントを視聴者に宣伝し、ブランドイメージを高め、購買意欲を促す広告制作を目的とする。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。 各自広告主を決め動画広告を考える。ブランドイメージに合った広告の打ち出し方、企画を元にその他web広告への展開の仕方を学ぶ。ターゲット層へアピールするためのリサーチも行い、より宣伝効果が得られる広告戦略を考える。		
授業終了時の到達目標		
情報収集、リサーチをし、企画制作をしプレゼン力を身に付ける。ターゲットに合った効果的なアピールを学ぶ。web広告の制作を通して、主体的に行動し、各自に発信しながら課題のテーマについて問題点を見出す能力を身に付ける。		
回	テ ー マ	内 容
1	この授業の目的と意味を伝える。	多くあるweb広告の種類、仕組みについて学ぶ。サンプルを参照にし、売り出したい商品・店・ブランド等、各自で広告主を決定する。
2	広告主の決定、こうこくの企画アイデア出し。	web広告をリサーチし、広告主を決定する。決定した広告主の情報収集・ターゲット・競合の情報収集。web広告を観覧し動画の秒数の感覚を掴む。
3	インストリーム広告（動画広告）のアイデアラフ案。	インストリーム広告のじゅうようせいを考えながらアイデアを出す。目的、ターゲットを明確にし、動画の流れを考えまとめる。そのつど確認、ブラッシュアップする。
4	インストリーム広告のアイデアラフ案出し。絵コンテ制作。	ラフチェックを終えたものを30秒を基準に絵コンテを制作。秒単位で細かく記載する。
5	絵コンテ制作	秒単位で記載し細かい内容を考える。
6	インストリーム広告制作	絵コンテを元にプレミアプロを使い制作を進める。撮影が必要であれば教室以外での作業も可能。
7	インストリーム広告制作	絵コンテを元にプレミアプロを使い制作を進める。撮影が必要であれば教室以外での作業も可能
8	インストリーム広告制作	絵コンテを元にプレミアプロを使い制作を進める。撮影が必要であれば教室以外での作業も可能

回	テ ー マ	内 容
9	インストリーム広告制作	絵コンテを元にプレミアプロを使い制作を進める。撮影が必要であれば教室以外での作業も可能
10	インストリーム広告制作	絵コンテを元にプレミアプロを使い制作を進める。撮影が必要であれば教室以外での作業も可能
11	SNS広告アイデア出し	インストリーム広告に沿ったSNS広告のアイデア出し
12	SNS広告制作	アイデアラフを元に制作を進める。
13	SNS広告制作	アイデアラフを元に制作を進める。
14	最終確認、企画書制作	すべてのバランスを確認し、統一感のある一連の作品としての仕上がりをチェック。企画書の制作。
15	プレゼンテーション	インストリーム広告を再生し、それに関連するweb広告も含め制作の意図を発表する。
教科書・教材		
プレミアプロ		
予習・復習		
今まで意識していなかった動画広告、SNS広告に興味を持ちスキップせず情報収集に努める。 紙媒体ではない販促のコツを考えながら動画を視聴する。		
評価項目（評価の方法）		
個人でセレクトした商品のアピールポイントの見極めと、打ち出し方のアイデア。 動画内での強弱の付け方、メリハリでスキップされない動画に出来ているか。 イヤホンを付けての作業になるので、他ごとをせずしっかり取り組んでいるか。		
その他		

科目名	授業名	担当教員
ゼミ(ビジュアルコミュニケーション)Ⅱ	ゼミ(ビジュアルコミュニケーション)Ⅱ	石澤 広子、安江 由実子
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	4単位
科目のねらい		
【木曜午後（石澤）金曜午後（安江）1～10週】 産学協同授業での制作を通して、企業が成し得るコミュニケーション活動を理解すると共に表現技術の向上を図ることを目的とする。松風屋のバレンタインチョコレートの特長の来年のトレンドをマーケティングリサーチし、分析結果から動向を先読みし商品展開させ、店頭販売してもらうことを目的とする。「売れる商品とは何か」を決定し、企業デザイナーとの数回の打ち合わせ及びプレゼンテーションを経て作品をブラッシュアップさせ商品化させることを目的とする。		
授 業 の 概 要		
【木曜午後（石澤）金曜午後（安江）約10週】《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。企業と連携して授業を進めることにより、より実際のデザインの流れや製品化に対しての企画・デザインの練り方を学び習得する。デザインすることは消費者あてのものであり、自分が「好きなデザイン」と「売れるデザイン」の違いを知る。現状における流行を上手に取り入れ、クライアントの持つイメージを損なうことなくバランスよくデザインし、沢山のバリエーションの中からクライアントが求めるものを見つけ出し形にする。パッケージに関しては、企業リサーチと市場調査をしっかりとした後、テーマに向けた商品パッケージを企画制作する。		
授業終了時の到達目標		
【木曜午後（石澤）金曜午後（安江）約10週】【専門知識スキル】さまざまな要素をバランスよく取捨選択して、クライアントに理解される制作者としての特徴の土台を形成することが目標。、クライアントの求めるものを効率よくリサーチし、デザインしたものをプレゼンテーションすることによって自分の作品を客観的に評価される機会を作り、提供できる機会を作ることが目標。 【社会人基礎力】計画力、傾聴力、柔軟性、状況判断力		
回	テ ー マ	内 容
1	▶ 木 曜午後（石澤） 1. 科目の狙い、2. 到達レベル、3. 講義計画等の説明（30分）●課題説明及びイメージラフ・簡易企画書制作 ※シラバスはその年の課題の進行状況によってチェック日など変	●課題内容説明【松風屋オリンパスシリーズに変わるバレンタイン用チョコレートパッケージ新企画制作】 松風屋会社説明、オリンパスに変わる新ブランド企画についての諸注意。イメージラフ・簡易企画書制作事項などの説明と簡易企画書制作（イメージ
2	▶ 金 曜午後（安江） ●イメージマップ制作及びイメージラフ・簡易企画書制作	●課題内容説明【松風屋新シリーズバレンタイン用チョコレートパッケージ】 松風屋会社説明、制作にあたっての注意イメージラフ・簡易企画書制作事項などの説明と簡易企画書制作（イメージマップ）（A4）●各自のコンセプト
3	▶ 木 曜午後（石澤） イメージラフチェック・簡易企画書提出及びモノクロ原寸ラフ制作（天面と側面展開図）	●サムネイル各3案を得て原寸ラフスケッチ制作をする。ラフはモノクロ原寸で印刷ののち側面を折ってみることで、箱全体のデザインが見えてくる。（天面との繋がり）●オリジナルパッケージの形状や材質、どんなチョコレートかも決定する。（価格も）
4	▶ 金 曜午後（安江） モノクロ原寸ラフ制作（天面と側面展開図）	●サムネイル各3案を得て原寸ラフスケッチ制作をする。ラフはモノクロ原寸で印刷ののち側面を折ってみることで、箱全体のデザインが見えてくる。（天面との繋がり）●オリジナルパッケージの形状や材質、どんなチョコレートかも決定する。（価格も）
5	▶ 木 曜午後（石澤） モノクロ原寸ラフチェック（色はパソコンで）	●モノクロで印刷したものを平と組み立ての状態をチェックして3案の中から一案に絞る。その後修正を経てOKが出た学生からカラー原寸制作へ。（実際のパッケージに落とし込む）●オリジナルパッケージの図面制作。
6	▶ 金 曜午後（安江） モノクロ原寸ラフチェック（色はパソコンで）	●モノクロで印刷したものを平と組み立ての状態をチェックして3案の中から一案に絞る。その後修正を経てOKが出た学生からカラー原寸制作へ。（実際のパッケージに落とし込む）●オリジナルパッケージの図面制作。
7	▶ 木 曜午後（石澤） パソコン制作（カラー）	●モノクロでOKを貰い決まったデザインを本パッケージ展開図へカラーで落とし込み制作する。
8	▶ 金 曜午後（安江） パソコン制作（カラー）	●カラー原寸デザイン及び中面デザインチェック

回	テ ー マ	内 容
9	▶ 木 曜午後（石澤） カラー原寸（中面も）組み立て	●カラー出力したものを一度組み立ててみる。（完全パッケージ）
10	▶ 金 曜午後（安江） カラー原寸組み立て	●組み立ててみる。
11	▶ 木 曜午後（石澤） デザイン修正と什器（ディスプレイ）、紙袋デザイン	●デザインの修正と完成。それにあった什器（ディスプレイ）と紙袋のデザイン制作。什器にはオリンポスのロゴを入れる事。デザインが決まれば最終的に自分が作ったパッケージデザインとプライスカードも什器にあった比率に縮小して入れる事。（陳列イメージ）企画書には正面と側面が分かるよう
12	▶ 金 曜午後（安江） 什器（ディスプレイ）、紙袋デザイン	●什器（ディスプレイ）、紙袋デザインのチェック。紙袋は持ち手のデザインも必要。
13	▶ 金 曜午後（安江） 完成したデザインをケント紙に印刷して組み立て。什器と紙袋のデザインチェック。（カラー印刷）	●指定のケント紙の厚みで印刷して組み立て。（オリジナル含む）什器のデザインと紙袋のデザインチェック。（什器にはまだパッケージは入れなくても良い）
14	▶ 木 曜午後（石澤） 完成したデザインをケント紙に印刷して組み立て。什器と紙袋のデザインチェック。（カラー印刷）出来た人から企画書制作。	●指定のケント紙の厚みで印刷して組み立て。（オリジナル含む）什器のデザインチェック。（什器にパッケージデザインとプライスカードを配置）●紙袋を立手に組み立てる。●OKな人から本ブレ用の企画書制作。
15	▶ 金 曜午後（安江） 全ての完成品を提出と本企画書及びプレゼンデータ制作	●パッケージ完成提出（ケント紙立体）と什器デザインに自分のパッケージとプライスカードを配置したものを提出。紙袋の現物も提出。（持ち手のデザインも忘れないように）●企画書は2部製本して提出。自分が作った現物の写真もイラレの作成デザインも入れる事。什器（パッケージ入り）と紙
16	▶ 木 曜午後（石澤） 本企画書及びプレゼンデータ制作	●企画書は2部製本して提出。自分が作った現物の写真もイラレの作成デザインも入れる事。什器（パッケージ入り）と紙袋のデザインも忘れずに。
17	▶ 木 曜午後（石澤） 本企画書及びプレゼンデータ制作と各自プチプレゼン。	●企画書は2部制作。自分が作った現物の写真もイラレの作成デザインも入れる事。什器（パッケージ入り）と紙袋のデザインも忘れずに。
18	▶ 金 曜午後（安江） 本企画書提出。プレゼンデータ制作と各自プチプレゼン。	●企画書は2部製本して提出。プレゼン用データは動作確認して指定のフォルダへ提出。この授業後の変更や入れ替えはできない。（データを吸い上げるので入れ替えしても反映されない）
19	▶ 木 曜午後（石澤/安江） プレゼンテーション（松風屋様来校）	●本プレゼンテーション。制作したパッケージと企画書を持参。 <大切な事> クライアントに向けたプレゼンテーションでうまく思いを伝えられるか。
20	▶ 金 曜午後（安江） 振替の為授業無し	●振替の為授業無し
21	▶ 木 曜午後（石澤） グラフィックデザイン基礎①	●デザインする上での知識の再確認。トリムマークをはじめ色や印刷に必要な基礎知識の復習。
22	▶ 金 曜午後（安江） 平面構成	こちらから提示したオノマトベの中から4つ選んでその音からイメージしたものをラフスケッチする。

回	テ ー マ	内 容
23	▶ 木 曜午後（石澤） グラフィックデザイン基礎②	●デザインする上での知識の再確認。文字や行間・文字間に関する基礎知識の復習。
24	▶ 金 曜午後（安江） 平面構成	ラフチェック、まとめたものはパソコンで作成していく。
25	▶ 木 曜午後（石澤） グラフィックデザイン基礎③	●デザイン演習
26	▶ 金 曜午後（安江） 平面構成	引き継ぎパソコンでの制作。
27	▶ 木 曜午後（石澤） プレゼン用の資料を作成する	制作した4パターンの平面構成をフォーマットに貼り付けプレゼン用の資料を作成する
28	▶ 金 曜午後（安江） グラフィックデザイン基礎④	●デザイン演習
29	▶ 木 曜午後（石澤） プレゼンテーション	自分で作った作品をプレゼンテーションする。
30	▶ 金 曜午後（安江） グラフィックデザイン基礎⑤	●まとめ
教科書・教材		
【木曜午後（石澤）金曜午後（安江）】テキストなし。資料に関しては、必要に応じプリント又はPDFにて配布。資料配布時にコン		
予習・復習		
企画制作におけるリサーチや事前に資料を揃える。課題要綱に沿った企画案になっているか、作っているパッケージが企画とずれていないかなど毎回チェックし、修正する。チェック日や提出日までの準備を念入りにしておく。プレゼンテーションに於いては、事前に各自練習して置く事。		
安江 生活で使用しているオノマトペを個性を主張できるビジュアルに仕上げるセンスを磨いていく。販促の為のデザインではなく言葉のイメージを芸術的に		
評価項目（評価の方法）		
【評価項目（評価の方法）】授業態度、作品により総合的に判断。クライアントに対しプレゼンテーションが必要な場合は、プレゼンテーションも評価の対象とする。但し、出席率が80％に満たない場合、課題提出が1作品でも欠けている場合は単位を認めない。		
安江		
その他		

科目名	授業名	担当教員
ゼミ(総合デザイン)Ⅱ	ゼミ(総合デザイン)Ⅱ	馬場 陽子、加藤 雅尚
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	4単位
科目のねらい		
前半では、産学共同授業を通して、デザイナーとして提案できること、企画力を養う。企業が成し得るコミュニケーション活動を理解すると共に表現技術の向上を図ることを目的とする。松風屋のバレンタインチョココレートの来年のトレンドをマーケティングリサーチし、分析結果から動向を先読みし商品展開させ、店頭販売してもらうことを目的とする。 後半では、テーマがありながらも、現状の改善と販売促進、集客を目的とした自由な表現を追求する。2年生で培った基礎力をベースとし、より完成度の高い最終形態・企画提案を期待する。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。足を使ったリサーチ・経験を意識し、フィニッシュワークまでの制作過程に重点を置く。デザインすることは消費者あつてのものであり、自分が「好きなデザイン」と「売れるデザイン」の違いを知る。クライアントの持つイメージを損なうこと無くバランスよくデザインし、沢山のバリエーションの中からクライアントが求めるものを見つけ出し形にする。松風屋のチョココレートパッケージに関しては、企業リサーチと市場調査をしっかりした後、来年のバレンタインに向けた商品パッケージを企画制作する。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】：さまざまな要素をバランスよく取捨選択して、クライアントに理解される制作者としての特徴の土台を形成することが目標。、クライアントの求めるものを効率よくリサーチし、デザインしたものをプレゼンテーションすることによって自分の作品を客観的に評価される機会を作り、提供できる機会を作ることが目標。 【社会人基礎力】クライアントとの対応に必要な主体性、傾聴力を基礎としながら、課題進行の中で創造力、発進力、実行力、計画力を育て、他者の作品と自分の作品の振り返りの中から、スキルアップのための課題発見力を意識させる。		
回	テ ー マ	内 容
1	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	松風屋様によるレクチャー。スケジュール確認、課題のリサーチ。 （１）クライアントの要望に沿った企画とデザイン提案ができる。（２）印刷物におけるIllustrator、Photoshopのルールに沿ったデータ作り。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
2	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	課題のリサーチ。企画案・コンセプトをまとめる。方向性の確認。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
3	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	企画案・コンセプトをまとめる。企画案チェック、原寸ラフ制作。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
4	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	企画案・コンセプトをまとめる。企画案チェック、原寸ラフ制作。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
5	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	原寸大モノクロチェック、展開図データ、必要な素材の確認。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、カッター、カッターマット、Mac
6	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	原寸大モノクロチェック、展開図データ、必要な素材の確認。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、カッター、カッターマット、Mac
7	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	展開図データ作業、必要な素材の制作。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、カッター、カッターマット、Mac
8	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	展開図データ作業、必要な素材の制作。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、カッター、カッターマット、Mac

回	テ ー マ	内 容
9	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	プレゼンテーションデータ制作。カラー原寸（コピー用紙）サンプルチェック。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、カッター、カッターマット、Mac
10	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	プレゼンテーションデータ制作。カラー原寸（コピー用紙）サンプルチェック。 プレゼンテーションのための適正なデータ作りを目指す。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、カッター、カッターマット、Mac
11	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	最終修正及びプレゼンテーション用データ制作と企画書制作。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、各自必要な素材、カッター、カッターマット、Mac
12	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	最終修正及びプレゼンテーション用データ制作と企画書制作。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、各自必要な素材、カッター、カッターマット、Mac
13	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	本番紙でのサンプル完成、企画書（現物写真入り）作成。個々の企画を魅力的に紹介するプレゼンテーションを目指す。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、各自必要な素材、カッター、カッターマット、Mac
14	【課題①】産学協同の新商品パッケージを課題として企画・提案する。	本番紙でのサンプル完成、企画書（現物写真入り）作成。個々の企画を魅力的に紹介するプレゼンテーションを目指す。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、各自必要な素材、カッター、カッターマット、Mac
15	【課題②】オリジナル企画（2種類）とサンプル制作スタート。	【課題②】ロゴマークの制作とグラフィックへの展開（加藤）
16	【課題①】企画書とサンプルの完成・確認。	本番紙でのサンプル完成、企画書（現物写真入り）作成。個々の企画を魅力的に紹介するプレゼンテーションを目指す。（馬場） 【持参物】筆記用具、スケッチブック、各自必要な素材、カッター、カッターマット、Mac
17	【課題②】オリジナル企画（2種類）とサンプル制作スタート。	課題のレクチャー、スケジュールの確認（馬場）。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
18	【課題②】ロゴマークの制作とグラフィックへの展開	マトリクスによるトンマナの設定方法（加藤）。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
19	【課題①】の最終プレゼンテーション（企業様来校予定）	企画書と現物サンプルをプレゼンテーションする。 魅力的なプレゼンテーションを意識する。 【持参物】企画書、パッケージサンプル、Mac
20	【課題②】ロゴマークの制作とグラフィックへの展開	課題ロゴのラフ制作（加藤）。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
21	【課題②】オリジナル企画（2種類）。	情報収集、ラフ案作業（馬場）。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
22	【課題②】ロゴマークの制作とグラフィックへの展開	ロゴマーク実制作（加藤）。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac

回	テ ー マ	内 容
23	【課題②】オリジナル企画（2種類）。	中間チェック。各自コンセプトと企画内容の確認（馬場）。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
24	【課題②】ロゴマークの制作とグラフィックへの展開	ロゴマーク実制作（加藤）。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
25	【課題②】オリジナル企画（2種類）。	完成に向けての必要な行程と必素材の確認（馬場）。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
26	【課題②】ロゴマークの制作とグラフィックへの展開	ロゴマークのツールへの展開制作（加藤）。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
27	【課題②】オリジナル企画（2種類）。	サンプル制作、プレゼンテーションデータ作成。プレゼンテーションのための適正なデータ作りを意識する。（馬場） 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
28	【課題②】ロゴマークの制作とグラフィックへの展開	ロゴマークのツールへの展開制作（加藤）。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、Mac
29	【課題②】最終プレゼンテーション（馬場）	個々の企画を魅力的に紹介するプレゼンテーションを目指す。 プレゼンテーションと振り返り。ポートフォリオ作業。 【持参物】作品、筆記用具、スケッチブック、Mac
30	【課題②】最終プレゼンテーション（加藤）	個々の企画を魅力的に紹介するプレゼンテーションを目指す。 プレゼンテーションと振り返り。ポートフォリオ作業。（加藤） 【持参物】作品、筆記用具、スケッチブック、Mac
教科書・教材		
なし		
予習・復習		
各課題の必要な資料については授業外で収集する。授業内で提示する課題（もしくは提出物）について各締切日にあわせ提出できるよう授業外の時間でも制作を進めるようににする。		
評価項目（評価の方法）		
【評価の観点】：成果のクオリティはもちろんであるが、コンセプトにあたる制作意図、そのコンセプトを踏まえたデザイン制作のプロセス、それらを伝えるプレゼンテーションも同等の評価対象とする。【評価項目（評価の方法）】：成果物のクオリティ30%、コンセプト設定30%、制作プロセス20%、プレゼンテーション20%。		
その他		
【受講ルール等】：資料配布は必ず各自保管する。 課題の提出は期日提出を必須とし、やむを得ない理由によって提出不可能な場合は、事前に提出することを心がける。		

科目名	授業名	担当教員
ゼミⅢ	ゼミⅢ	岡田 庸平
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	2単位
科目のねらい		
Mac環境でのWordPress構築を体験し、基本的なテーマ制作の流れを学ぶ。独自のデザインをWordPressテーマに反映させることで、実務で必要とされるCMS構築力を養う。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。前期に学んだHTML/CSSやWebデザインの基礎知識をもとに、後期ではWordPressを用いたCMSサイト制作を行う。Mac環境におけるWordPress構築を体験し、テーマファイルの仕組みを理解しながら、自身のデザインをWordPressテーマとして反映させる技術を習得する。 実際の仕事で必要とされる CMSの基礎知識とWordPress環境構築		
授業終了時の到達目標		
【1】 Mac環境におけるWordPressのインストールと環境構築ができる。 【2】 HTML/CSSの基礎知識を応用し、WordPressのテンプレートを作成できる。 【3】 テンプレートタグやループを活用し、動的に情報を表示できる。 【4】 クライアントを想定したWebサイト企画を立案し、ターゲットに応じたデザインと構成を行える。 【5】 制作物の意図を説明し、論理的にプレゼンテーションできる。		
回	テ ー マ	内 容
1回目	後期の流れとCMS概論	前期の復習と後期の学習概要、CMSとWordPressの役割 [持ち物] PC必須
2回目	Mac環境構築①	MAMP/Local環境などを用いた開発環境の構築 データベース・WordPress本体インストール
3回目	WEBデザイン作成	管理画面、投稿・固定ページ、テーマ・プラグインの基本
4回目	テーマ基礎①	公式テーマの構造（index.php, style.css, functions.phpなど）
5回目	テーマ基礎②	HTML/CSSをテーマに落とし込む
6回目	ループとテンプレートタグ	投稿を出力する「The Loop」と基本タグを学ぶ
7回目	ヘッダー・フッターの分割	get_header/get_footerを用いて共通化
8回目	固定ページとカスタムメニュー	固定ページの作成とナビゲーションメニュー実装

回	テ ー マ	内 容
9回目	サイト企画と再設計	WordPressを用いたサイト企画立案
10回目	実装①	企画に沿ったテーマ制作（デザイン反映）
11回目	実装②	カスタマイズ（ウィジェット・プラグインの導入）
12回目	実装③	サイト制作、コードレビュー
13回目	実装④	サイト制作、コードレビュー
14回目	プレゼン資料まとめ	制作意図や企画意図を資料化
15回目	プレゼンテーション	最終成果物発表
教科書・教材		
なし		
予習・復習		
WEBサイトの構成や枠組みを考えながらデザイン案などを常に考えること またHTML / CSSについての復習やWordpressに対して使うphpの復習や その他授業で学んだことを常に復習すること		
評価項目（評価の方法）		
最終課題、プレゼンテーション80%、授業態度20%		
その他		
なし		

科目名	授業名	担当教員
広告イラスト	広告イラスト	馬場 陽子
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	2単位
科目のねらい		
イラストレーションとは何か、広告における「絵」の部分の役割と、平面から立体まで、様々な作風を再認識する。オリジナリティとその必要性を理解し、コンピュータを含むそれぞれの画材の特性を理解・習得する。制約の中で伝えたい表現を一定のスピードで進行出来る技術を養う。手描きの手法を中心とした、ビジュアルデザインにおけるイラストレーションテクニックを習得し、ターゲットやニーズに沿った広告物を制作する。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》広告におけるイラストレーションの役割と魅力を理解し、画力（形、立体感、着色）の応用力と上達を目指す。オリジナリティを意識しつつ、個々の得意な素材や描き方を見つける。イラストレーションで惹きつける広告を制作する。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】：オリジナルのイラストレーションと文字を構成し、インパクトのある広告を制作する。制約の中でオリジナリティを意識した、イラストレーションの技術を習得する。【社会人基礎力】クライアントとの対応に必要な主体性、傾聴力を基礎としながら、課題進行の中で創造力、発進力、実行力、計画力を育て、他社の作品と自分の作品の振り返りの中から、スキルアップのための課題発見力を意識させる。		
回	テ ー マ	内 容
1	(1)イラストレーションって何？広告におけるイラストレーションの役割と魅力について。(2)課題1:画材演習。	ものの正確な形と立体感の表現・応用演習。絵の具を使った果物の表現。一定のスピードで形をとり、インパクトのあるイラストレーションを描くスキルを習得する。アナログならではの偶発的なテクスチャーを楽しんで制作する。
2	(1)形と着色の修正ポイント、加筆部分の確認(2)課題1:画材演習。	3種類の画材の特色を生かした着彩方法でイラストレーションを制作する。アクリル絵の具で「立体感、質感」を表現出来る。透明水彩絵の具やカラーインクで「透明感」を意識する。 【持参物】筆記用具、アクリル絵の具、水彩絵の具一式、色鉛筆、一式、
3	課題1:3種類の画材でイラストレーション制作。	3種類の画材の特色を生かした着彩方法でイラストレーションを制作する。アクリル絵の具で「立体感、質感」を表現出来る。透明水彩絵の具やカラーインクで「透明感」を意識する。完成度の高い作品を選んで提出。 【持参物】筆記用具、アクリル絵の具、水彩絵の具一式、色鉛筆、一式、
4	(1)線画の線の種類と太さについて(2)課題2:線画でイラストレーション制作。	線で表現するイラストレーションの種類と用途を知る。資料をもとにオリジナルの表現としての線画イラストを仕上げる。 【持参物】筆記用具、クロッキー帳、ケントブロック、各自必要なペン画材
5	課題2:線画でイラストレーション制作。	形とタッチの修正・決定作業。一つの作風としての描き方を完成させる。 【持参物】筆記用具、クロッキー帳、ケントブロック、各自必要なペン画材
6	課題2:線画でイラストレーション制作。	線のオリジナリティにもこだわりながら、画面全体を整えて完成させる。プレゼンテーションと振り返り。 【持参物】筆記用具、クロッキー帳、ケントブロック、各自必要な画材、トレーシングペーパー
7	(1)キャラクターとは？広告における役割と魅力について (2)課題3:キャラクターを使用した広告制作	キャラクターを1体制作し、“地元、紹介の広告を制作する。キャラクター制作の目的を理解し、地域の特徴を生かしたキャラクターをデザインする。 【持参物】筆記用具各自必要な画材、ケントブロック、スケッチブック
8	課題3:キャラクターを使用した広告制作	リサーチから地元の特徴をピックアップし、キャラクターデザインする。マスコットキャラクターの役割を理解する。立体としてもイラストとしても成立するキャラクターをデザインする。 【持参物】筆記用具、クロッキー帳、ケントブロック、各自必要な画材

回	テ ー マ	内 容
9	課題3:キャラクターを使用した広告制作	背景と文字の色み・バランスにもこだわりながら、広告を完成させる。ブラッシュアップとプレゼンテーション準備。 〃地元、を紹介するキャラクターの設定、コンセプトシートの制作を通して、キャラクター単体ではなく広告の一部としての素材をデザインする。
10	課題3:キャラクターを使用した広告制作	プレゼンテーションと振り返り。 キャッチコピーと組み合わせてインパクトのある広告を制作できたか、他作品の魅力的な部分の分析。 【持参物】筆記用具、作品
11	課題4:イベントをテーマに、オリジナルイラストレーションを用いた広告を制作する。	イベント広告とは？のレクチャー後、4種類のイベントの中から選択し、必要なイメージやアイデアの収集作業。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、各自必要な画材
12	課題4:イベントをテーマにした広告を制作する。	ラフ案作業から下絵、最適な画材を選択し実制作。 今まで習得した画材と技法の中から広告で映える最適な画法を選ぶ。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、各自必要な画材
13	課題4:イベントをテーマにした広告を制作する。	ラフ案作業から下絵、最適な画材を選択し実制作。 今まで習得した画材と技法の中から広告で映える最適な画法を選ぶ。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、各自必要な画材
14	課題4:イベントをテーマにした広告を制作する。	オリジナルイラストレーションを最適に活かすレイアウト作業。 プレゼンテーションに向けたブラッシュアップ。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、各自必要な画材
15	課題4:イベントをテーマにした広告を制作する。	イベント広告（A3サイズ）を完成させる。プレゼンテーションと振り返り。 オリジナルイラストレーションを用いた広告を完成させる。 【持参物】筆記用具、作品
教科書・教材		
なし		
予習・復習		
各課題の必要な資料については授業外で収集する。授業内で提示する課題（もしくは提出物）について各締切日にあわせ提出できるよう授業外の時間でも制作を進めるようににする。		
評価項目（評価の方法）		
【評価の観点】：成果のクオリティはもちろんであるが、コンセプトにあたる制作意図、制作のプロセス、それらを伝えるプレゼンテーションも同等の評価対象とする。 【評価項目（評価の方法）】：成果物のクオリティ－30%、コンセプト設定－30%、制作プロセス－20%、プレゼンテーション－20%。		
その他		
【受講ルール等】：資料配布は必ず各自保管する。 課題の提出は期日提出を必須とし、やむを得ない理由によって提出不可能な場合は、事前に提出することを心がける。		

科目名	授業名	担当教員
就職研究Ⅰ	就職研究Ⅰ	石澤 広子、岸本 雅樹、柴田 美佳
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	1単位
科目のねらい		
企業は4月以降、採用活動から実際に内定を出す期間に移り、学生が自己の就職先を決定する1年となる。 本科目では、個々の学生の就職活動状況の把握する。 個別の希望業界の求人票斡旋、キャリアセンター情報の伝達、自己分析、履歴書添削、面接対策を実施。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》 デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。 デザイン業界の企業や職種を把握し、実際の就職活動前に自分の進路を決定する。 自己分析を進め、各種応募方法を学び対策する。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】：卒業後の希望進路について深く考え、就職活動する。内定を獲得することができる。 【社会人基礎力】：主体性、働きかけ力、実行力。 就職活動を通して、自己に不足している力を見つけ、対応できる力を養う。		
回	テ ー マ	内 容
1	就職活動状況の自己棚卸 企業研究、採用のポイント 春休み活動把握	春休みの就職活動の棚卸 企業サイトの見るべきポイント 何を調べるか、どこを見るかを知る 【持参物】
2	活動状況把握、エントリーシート、履歴書作成 志望動機以外の項目の見直し 春休み活動把握	面談実施 冬季インターンシップ体験を踏まえた就職先の選択 エントリー 【持参物】
3	活動状況把握、エントリーシート、履歴書作成 志望動機以外の項目の見直し 春休み活動把握	面談実施 冬季インターンシップ体験を踏まえた就職先の選択 エントリー 【持参物】
4	活動状況把握 未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う 未内定者担任面談	個別面談実施 未活動者はキャリアセンターツアー エントリー企業検索（情報センターで実施） 【持参物】
5	活動状況把握 未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う 未内定者担任面談	個別面談実施 未活動者はキャリアセンターツアー エントリー企業検索（情報センターで実施） 【持参物】
6	活動状況把握 未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う 未内定者担任面談	個別面談実施 未活動者はキャリアセンターツアー エントリー企業検索（情報センターで実施） 【持参物】
7	活動状況把握 未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う 未内定者担任面談	個別面談実施 未活動者はキャリアセンターツアー エントリー企業検索（情報センターで実施） 【持参物】
8	活動状況把握 未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う 未内定者担任面談	個別面談実施 未活動者はキャリアセンターツアー エントリー企業検索（情報センターで実施） 【持参物】

回	テ ー マ	内 容
9	活動状況把握 未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う 未内定者担任面談	個別面談実施 未活動者はキャリアセンターツアー エントリー企業検索（情報センターで実施） 【持参物】
10	活動状況把握 未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う 未内定者担任面談	個別面談実施 未活動者はキャリアセンターツアー エントリー企業検索（情報センターで実施） 【持参物】
11	活動状況把握 未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う 未内定者担任面談	個別面談実施 未活動者はキャリアセンターツアー エントリー企業検索（情報センターで実施） 【持参物】
12	活動状況把握 未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う 未内定者担任面談	個別面談実施 未活動者はキャリアセンターツアー エントリー企業検索（情報センターで実施） 【持参物】
13	活動状況把握 未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う 未内定者担任面談	個別面談実施 未活動者はキャリアセンターツアー エントリー企業検索（情報センターで実施） 【持参物】
14	活動状況把握 未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う 未内定者担任面談	個別面談実施 未活動者はキャリアセンターツアー エントリー企業検索（情報センターで実施） 【持参物】
15	活動状況把握 未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う 未内定者担任面談	個別面談実施 未活動者はキャリアセンターツアー エントリー企業検索（情報センターで実施） 【持参物】
教科書・教材		
適宜資料を配布		
予習・復習		
授業内で学んだ中で、自身で気になった内容について自主的に深掘りをして理解を深める。		
評価項目（評価の方法）		
【評価の観点】： .授業参加態度が良好であること .課題の提出結果が基準点に達しており、認（認定）であること 【評価項目（評価の方法）】： 平常点（授業受講姿勢など）、課題評価 ただし必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。		
その他		
【受講ルール等】： 1.学生状況に応じて、資料配布は参考資料等をコピーして配布 2.課題提出は担任が回収、翌授業で必要があれば学生へ返却 【その他】： 3～4人のグループワークも適宜取り入れ実施		

科目名	授業名	担当教員
卒業制作	卒業制作(ビジュアルコミュニケーション)	石澤 広子、渡邊 勝則、山田 綾乃
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	
科目のねらい		
個人の想像意欲・発想を基に、各種の問題提案や実験的な作品にも取り組み、完成度の高い作品づくりを目的とする。新しい発想と制作物で学生らしさを残しつつもプロと変わらぬハイレベルの作品を発表し、目に留めて貰える様な作品を生み出すことを最終目的とする。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。「Melody」をテーマとして卒業制作を進めていきます。作品内容は、ヴィジュアル化した作品、大型パネルとヴィジュアルブック他。展示計画は、限られたスペースにに合わせてビジュアル制作物を作成。壁にはイメージポスター制作、その他ヴィジュアルブックなどの制作を行います。		
授業終了時の到達目標		
【社会人基礎力】：1. 考え抜く力（・課題発見力 ・計画力 ・想像力） 2. 前に踏み出す力（・主体性 ・働きかけ力 ・実行力） 3. チームで働く力（・発信力 ・傾聴力 ・柔軟性 ・状況判断力 ・規律性 ・ストレスコントロール力）		
回	テ ィ マ	内 容
1	9/22(石ー①) 卒業制作とは？のレクチャーとゼミテーマの説明。	各自設定したテーマ、企画の再ヒアリング。コンセプトとラフ案の制作。
2	9/25(渡ー①) 企画のオリエンテーション：前期最終日に発表した内容に添った企画および個人の課題をプレストする。	ゼミテーマを理解し、個人制作とゼミ制作の共有を理解すること。個々のテーマの決定。（夏休み中の宿題）
3	9/29(石ー②)	
4	9/30(山ー①)	
5	10/2(渡ー②) テーマの再確認	再確認
6	10/6(石ー③)	
7	10/7(山ー②)	
8	10/9(渡ー③) 完成イメージ	最終目的を意識したデザイン企画の確認

回	テ ー マ	内 容
9	10/14(山－③)	
10	10/16(渡－④) 制作	ラフチェックからデザインへ
11	10/20(石－④)	
12	10/21(山－④)	
13	10/23(渡－⑤)総合ゼミ確認日 テーマの確認と制作物の確認	アイデアとラフチェック
14	10/27(石－⑤)	
15	10/28(山－⑤)	
16	10/30(渡－⑥) 制作	ラフチェックからデザインへ
17	11/4(山－⑥)	
18	11/6(渡－⑦) デザイン制作	方向性の確認
19	11/10(石－⑥)	
20	11/11(山－⑦)	
21	11/13(渡－⑧) 最終目的	仕上げの方向とデザイン確認
22	11/17(石－⑦)	

回	テ ー マ	内 容
23	11/18(山－⑧)	
24	11/25(山－⑨)	
25	11/27(渡－⑨)総合ゼミ確認日 デザインの精度	前回打ち合わせ後のデザインチェック
26	12/1(石－⑧)	
27	12/2(山－⑩)	
28	12/8(石－⑨)	
29	12/11(渡－⑩) 仕上げ	入稿へのデザインチェック 手作業の学生は、途中でのチェック
30	12/15(石－⑩)	
31	12/16(山－⑪)	
32	12/18(渡－⑪) 仕上げ2	外部への発注者は、最終データチェック 手作業の学生は、仕上げチェック
33	12/22(石－⑪)	
34	1/5(石－⑫)	
35	1/6(山－⑫)	
36	1/8(渡－⑫) 完成度	チェック

回	テ ー マ	内 容
37	1/13(山－⑬)	
38	1/15(渡－⑬) 仕上げ3	外部発注の学生作品のあがりチェック 手作業の学生は、仕上げチェック
39	1/19(石－⑬)	
40	1/20(山－⑭)	
41	1/22(渡－⑭) 仕上げ3	外部発注の学生作品のあがりチェック 手作業の学生は、仕上げチェック
42	1/26(石－⑭)	
43	1/27(山－⑮)	
44	1/29(渡－⑮) 仕上げ4	外部発注の学生作品のあがりチェック 手作業の学生は、仕上げチェック
45	2/2(石－⑮)	最終プレゼンテーション（別日で設定）。
教科書・教材		
なし		
予習・復習		
評価項目（評価の方法）		
【受講ルール等】：資料配布は必ず各自保管する。 課題の提出は期日提出を必須とし、やむを得ない理由によって提出不可能な場合は、事前に提出することを心がける。 【評価の観点】：成果のクオリティはもちろんであるが、コンセプトにあたる制作意図、そのコンセプトを踏まえた企画書制作のプロセス、それらを伝えるプレゼンテーション参加も同等の評価対象とする。【評価項目（評価の方法）】：成果物のクオリティ－30%、コンセプト設定－30%、制作プロセス－20%、プレゼンテーション－20%。なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。また、卒業制作展示における評価は最終審査において決定する。		
その他		
なし		

科目名	授業名	担当教員
卒業制作	卒業制作(総合デザイン)	石澤 広子、馬場 陽子、安江 由実子
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	
科目のねらい		
デザイン業界におけるビジュアルデザインの役割の理解と、これまで学んだデザインの知識、スキルを生かした、生き生きとした作品を社会に向けて生み出すことを最終目的とする。学生らしい自由な発想で、企画から制作、プレゼンテーションまでの一連のプロセスを体験し、最終課題を通して各自のメッセージを見た人に伝える。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。 3年間の集大成として、ビジュアルデザインを使用したオリジナルのアイデア、社会への新しい提案をテーマとした完成度の高い作品を制作する。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】：各自のメッセージと自分の企画に合った見せ方の選択。デザイン部分での最適な完成度。【社会人基礎力】クライアントとの対応に必要な主体性、傾聴力を基礎としながら、課題進行の中で創造力、発進力、実行力、計画力を育て、他者の作品と自分の作品の振り返りの中から、スキルアップのための課題発見力を意識させる。		
回	テ ー マ	内 容
1	9/22(石一①) 卒業制作とは？のレクチャーとゼミテーマの説明。	各自設定したテーマ、企画の再ヒアリング。コンセプトとラフ案の確認。 (単位認定日に提出したもののブラッシュアップ)
2	9/25(馬一①) 企画案の再ヒアリング。	各自のオリジナリティと社会に対するメッセージ、その表現方法の確認。 スケジュールと必要行程の確認をする。
3	9/29(石二②) 企画書（仮）とデザインのラフ案出し。	各自のオリジナリティと社会に対するメッセージ、その表現方法の確認。 スケジュールと必要行程の確認をする。
4	9/30(安一①) 企画案の再ヒアリング。企画書（仮）とデザインのラフ案出し。	各自のオリジナリティと社会に対するメッセージ、その表現方法の確認。 スケジュールと必要行程の確認をする。
5	10/2(馬二②) ラフ案から作品のビジュアルイメージ作成。	各自のオリジナリティと社会に対するメッセージ、その表現方法の確認。 スケジュールと必要行程の確認をする。
6	10/6(石三③) ラフ案から作品のビジュアルイメージ作成。	卒業制作に充当するボリュームと内容か、オリジナリティと制作工程を意識しつつ各自の完成イメージを構築する。
7	10/7(安二②) ラフ案から作品のビジュアルイメージ作成。	卒業制作に充当するボリュームと内容か、オリジナリティと制作工程を意識しつつ各自の完成イメージを構築する。
8	10/9(馬三③) ラフ案から作品のビジュアルイメージ作成。	卒業制作に充当するボリュームと内容か、オリジナリティと制作工程を意識しつつ各自の完成イメージを構築する。

回	テ ー マ	内 容
9	10/14(安ー③) ラフ案から作品のビジュアルイメージ作成。	卒業制作に充当するボリュームと内容か、オリジナリティと制作工程を意識しつつ各自の完成イメージを構築する。
10	10/16(馬ー④) ラフ案から作品のビジュアルイメージ作成。	卒業制作に充当するボリュームと内容か、オリジナリティと制作工程を意識しつつ各自の完成イメージを構築する。
11	10/20(石ー④) ラフ案から作品のビジュアルイメージ作成。	卒業制作に充当するボリュームと内容か、オリジナリティと制作工程を意識しつつ各自の完成イメージを構築する。
12	10/21(安ー④) ラフ案から作品のビジュアルイメージ作成。	卒業制作に充当するボリュームと内容か、オリジナリティと制作工程を意識しつつ各自の完成イメージを構築する。
13	10/23(馬ー⑤) ビジュアルゼミ確認。 中間プレゼンテーションに向けた準備。	企画書と原寸大モノクロサンプル、もしくは原画・現物の場合は3分の1の途中行程のもの。
14	10/27(石ー⑤) 中間プレゼンテーションに向けた準備。	企画書と原寸大モノクロサンプル、もしくは原画・現物の場合は3分の1の途中行程のもの。
15	10/28(安ー⑤)	企画書と原寸大モノクロサンプル、もしくは原画・現物の場合は3分の1の途中行程のもの。
16	10/30(馬ー⑥) 中間プレゼンテーション1〈方向性と完成イメージの確認。〉	企画書と原寸大モノクロサンプル、もしくは原画・現物の場合は3分の1の途中行程のもの。
17	11/4(安ー⑥) 中間プレゼンテーション1〈方向性と完成イメージの確認。〉	企画書と原寸大モノクロサンプル、もしくは原画・現物の場合は3分の1の途中行程のもの。
18	11/6(馬ー⑦) 中間プレゼンの振り返り。	ブラッシュアップと、各自完成に向けた具体的な工程とスケジュールの確認。
19	11/10(石ー⑥) 完成イメージの確認。	ブラッシュアップと、各自完成に向けた具体的な工程とスケジュールの確認。
20	11/11(安ー⑦)	
21	11/13(馬ー⑧)	
22	11/17(石ー⑦)	

回	テ ー マ	内 容
23	11/18(安ー⑧)	
24	11/25(安ー⑨)	
25	11/27(馬ー⑨) ビジュアルゼミ確認。	
26	12/1(石ー⑧)	
27	12/2(安ー⑩)	
28	12/8(石ー⑨)	
29	12/11(馬ー⑩) 中間プレゼンテーション2〈入稿方法、スケジュールと完成イメージの確認。〉	企画書と原寸大カラーサンプル、もしくは原画・現物の場合は3分の2の途中行程のもの。
30	12/15(石ー⑩) 中間プレゼンテーション2〈入稿方法、スケジュールと完成イメージの確認。〉	企画書と原寸大カラーサンプル、もしくは原画・現物の場合は3分の2の途中行程のもの。
31	12/16(安ー⑪) 原寸大の確認。	展示会場を意識した完成イメージの確認。
32	12/18(馬ー⑪) 原寸大の確認。	展示会場を意識した完成イメージの確認。
33	12/22(石ー⑪) 原寸大の確認。	展示会場を意識した完成イメージの確認。
34	1/5(石ー⑫) 最終工程の確認。	最終プレゼンテーションに向けた必要行程（ブラッシュアップ、入稿先、必要な展示素材、企画書）の確認。
35	1/6(安ー⑫) 最終工程の確認。	最終プレゼンテーションに向けた必要行程（ブラッシュアップ、入稿先、必要な展示素材、企画書）の確認。
36	1/8(馬ー⑫) 最終工程の確認。	最終プレゼンテーションに向けた必要行程（ブラッシュアップ、入稿先、必要な展示素材、企画書）の確認。

回	テ ー マ	内 容
37	1/13(安ー⑬) 実制作作業。	作品のブラッシュアップ、入稿先、必要な展示素材、企画書作成。
38	1/15(馬ー⑬) 実制作作業。	作品のブラッシュアップ、入稿先、必要な展示素材、企画書作成。
39	1/19(石ー⑬) 実制作作業。	作品のブラッシュアップ、入稿先、必要な展示素材、企画書作成。
40	1/20(安ー⑭) 作品の完成、入稿準備。企画書の確認。	入稿方法の確認と最終プレゼンテーションに向けた準備。
41	1/22(馬ー⑭) 作品の完成→入稿。	デザインの最終確認および修正入稿確認。業者へのデータ準備、適正データの確認と入稿処理。
42	1/26(石ー⑭) 企画書のブラッシュアップ。最終プレゼンテーションの準備。	最終プレゼンテーション用データと、企画書、展示物のブラッシュアップ。
43	1/27(安ー⑮) 企画書のブラッシュアップ。最終プレゼンテーションの準備。	最終プレゼンテーション用データと、企画書、展示物のブラッシュアップ。
44	1/29(馬ー⑮) 企画書のブラッシュアップ。最終プレゼンテーションの準備。	最終プレゼンテーション用データと、企画書、展示物のブラッシュアップ。
45	2/2(石ー⑮) 最終プレゼンテーション、最終審査。	作品の魅力とコンセプトを企画書にまとめ、伝わり方を意識しながらに自分の作品をプレゼンテーションする。3年間の振り返り。 【持参物】最終プレゼンテーション用データと、企画書、展示物のブラッシュアップ。
教科書・教材		
筆記用具、Mac、スケッチブック、ほか各自必要な資料。		
予習・復習		
評価項目（評価の方法）		
【受講ルール等】：資料配布は必ず各自保管する。 課題の提出は期日提出を必須とし、やむを得ない理由によって提出不可能な場合は、事前に提出することを心がける。 【評価の観点】：成果のクオリティはもちろんであるが、コンセプトにあたる制作意図、そのコンセプトを踏まえた企画書制作のプロセス、それらを伝えるプレゼンテーション参加も同等の評価対象とする。【評価項目（評価の方法）】：成果物のクオリティー30%、コンセプト設定30%、制作プロセス20%、プレゼンテーション20%。なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。また、卒業制作展示における評価は最終審査において決定する。		
その他		
なし		

科目名	授業名	担当教員
プロジェクト型科目	プロジェクト型科目	馬場 陽子、伊藤 秀泰、田淵 智子、安江 由実子
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	4単位
科目のねらい		
総合デザイン学科で身につけた幅広い視点を生かし3コースが協力して産学連携にて課題に取り組む。実社会に出る前にビジネスマナーを実践しデザイナーの役割について考察する。既存の施設に対してデザイナーとして地域貢献・提案できることを考え、アピールできる企画力を養う。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。依頼内容に対して、3コース合同チームによるアイデア提案を行う。コースが協力して成果物（企画書、プレゼンテーションアイテム、展示用パネル）を作成する。		
授業終了時の到達目標		
実在のクライアントに対して集客や認知度アップ、販売促進を目的としたイベントや販促物などといった、デザインの役割を意識した企画をチームで提案・プレゼンテーションする。【専門知識スキル】：スケジュール管理能力。/質の高い作品、完成度の高い作品を判別する眼。/チームによる連帯を生かす能力 【社会人基礎力】：計画力 ・ 主体性 ・ 実行力 ・ 傾聴力 ・ 柔軟性 ・ 状況判断力 ・ 規律性 ・ ストレスコントロール力		
回	テ ー マ	内 容
1	9/19(合同－①) レクチャー、課題内容と科目の狙い、講義計画等の確認。チームメンバーの自己紹介。日報の説明。	現地視察の内容をまとめ、提案の目的と対象エリアを定める。どのような魅力を付加するかを考察しテーマ案を作成する。
2	9/24(馬－①) テーマ案の確認→決定。コンセプト案を作成する。	現地視察の内容をまとめ、提案の目的と対象エリアを定める。どのような魅力を付加するかを考察しテーマ案を作成する。
3	9/26(合同－②) 中間プレゼンテーションに向けた、企画案（仮）をまとめる。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。日報の記入。
4	10/1(馬－②) 中間プレゼンテーションに向けた、企画案（仮）をまとめる。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。
5	10/3(合同－③) 中間プレゼンテーションに向けた、企画案（仮）をまとめる。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。日報の記入。
6	10/8(馬－③) 中間プレゼンテーションに向けた、企画案をまとめる。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。
7	10/10(合同－④) 中間プレゼンテーションに向けた、企画案をまとめる。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。日報の記入。
8	10/15(馬－③) 中間プレゼンテーションに向けた、企画案をまとめる。	企画書の確認、ブラッシュアップ作業。

回	テ ー マ	内 容
9	10/17(合同ー⑤) 中間プレゼンテーションの準備。	企画書（仮）、プレゼンテーションデータ、サンプルなどの準備とプレゼン時の動作確認をする。日報の記入。
10	10/24(合同ー⑥)〈東谷山フルーツパーク様来校〉 中間プレゼンテーション。企画案の内容についてプレゼンし、東谷山フルーツパーク様のニーズを把握する。	各チームの提案内容・進行の確認。今後のブラッシュアップに向けた情報の共有、方向性の確認をする。 【持参物】企画書、プレゼンテーションデータ、筆記用具、メモ帳、PC
11	10/29(馬ー⑤) 中間プレゼンテーション後のブラッシュアップ部分の確認。	東谷山フルーツパーク様のアドバイスや所感から、懸念点はないか、プラスするアイデアや変更点と今後のスケジュールをチームで共有する。
12	10/31(合同ー⑦) 本制作スタート。企画に沿った制作物（企画書、販促物などデザイン制作物、リサーチ内容のビジュアル化など）のデザイン。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。日報の記入。
13	11/5(馬ー⑥) 本制作スタート。企画に沿った制作物（企画書、販促物などデザイン制作物、リサーチ内容のビジュアル化など）のデザイン。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。
14	11/7(合同ー⑧) 企画に沿った制作物（企画書、販促物などデザイン制作物、リサーチ内容のビジュアル化など）のデザイン。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。日報の記入。
15	11/12(馬ー⑦) 企画に沿った制作物（企画書、販促物などデザイン制作物、リサーチ内容のビジュアル化など）のデザイン。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。
16	11/19(馬ー⑧) 企画に沿った制作物（企画書、販促物などデザイン制作物、リサーチ内容のビジュアル化など）のデザイン。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。日報の記入。
17	11/26(馬ー⑨) 企画に沿った制作物（企画書、販促物などデザイン制作物、リサーチ内容のビジュアル化など）のデザイン。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。
18	11/28(合同ー⑨) 企画に沿った制作物（企画書、販促物などデザイン制作物、リサーチ内容のビジュアル化など）のデザイン。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。日報の記入。
19	12/5(合同ー⑩) 企画に沿った制作物（企画書、販促物などデザイン制作物、リサーチ内容のビジュアル化など）のデザイン。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。原寸大サンプルの確認。
20	12/10(馬ー⑩) 企画に沿った制作物（企画書、販促物などデザイン制作物、リサーチ内容のビジュアル化など）のデザイン。	チーム内、各自の役割に沿った、実制作。原寸大サンプルの確認。日報の記入。
21	12/12(合同ー⑪) 企画に沿った制作物（企画書、販促物などデザイン制作物、リサーチ内容のビジュアル化など）の完成。	完成した制作物の最終確認。
22	12/17(馬ー⑪) 最終プレゼンテーションの準備、デモンストレーション。	企画書、プレゼンテーションデータ、サンプルなどの準備とプレゼン時の動作確認をする。

回	テ ー マ	内 容
23	12/19(合同ー⑫) 最終プレゼンテーション。〈東谷山フルーツパーク様来校〉	各グループ毎にプレゼンを行い総合力をアピールする。聞き手の立場に立った最適なプレゼンテーションを意識し、提案内容を構成しクライアントに魅力を伝える。【持参物】企画書、プレゼンテーションデータ、原寸大サンプル、筆記用具、メモ帳、PC
24	1/7(馬ー⑫) 展示パネル制作。グループの特色を生かした提案内容を、美しくパネルにデザインする。	データの最適化、美しいパネルデザインに向けた案出し作業。
25	1/9(合同ー⑬) 展示パネル制作。グループの特色を生かした提案内容を、美しくパネルにデザインする。	データの最適化、美しいパネルデザインに向けたデザイン作業。
26	1/14(合同ー⑬) 展示パネル制作。グループの特色を生かした提案内容を、美しくパネルにデザインする。	デザインチェック。必要な情報とレイアウトの確認、文字校正。
27	1/21(馬ー⑭) 展示パネル制作。グループの特色を生かした提案内容を、美しくパネルにデザインする。	デザインチェック。必要な情報とレイアウトの確認、文字校正。原寸大モノクロプリントのチェック。
28	1/23(合同ー⑭) 展示パネル制作。グループの特色を生かした提案内容を、美しくパネルにデザインする。	デザインチェック。必要な情報とレイアウトの確認、文字校正。原寸大モノクロプリントのチェック。入稿データの準備。
29	1/28(馬ー⑮) 適正な入稿データの作成→入稿。	チーム毎にパネルデータの入稿作業。
30	1/30(合同ー⑮) 制作物の振り返りと展示物の準備。	授業の振り返り。
教科書・教材		
なし		
予習・復習		
評価項目（評価の方法）		
【受講ルール等】：専門分野（ビジュアル、C G、インテリア）講師が学生からのリクエストに対し専門性の高いアドバイスを実施/講師個別で判断しにくい状況が生じた場合は申し送りを常に行い、情報共有する【採点基準】・時間的な蓄積を感じること・グループワークの貢献度と自主性・出席率・〆切が厳守された課題の提出・制作プロセスと成果物のクオリティ		
その他		
なし		

科目名		授業名	担当教員
就職研究Ⅱ		就職研究Ⅱ	馬場 陽子、岸本 雅樹、柴田 美佳
開講年度		開講学期	単位数
2025年度		後期	1単位
科目のねらい			
企業は4月以降、採用活動から実際に内定を出す期間に移り、学生が自己の就職先を決定する1年となる 本科目では、個々の学生の就職活動状況の把握する。個別の希望業界の求人票斡旋、キャリアセンター情報の伝達、自己分析、履歴書添削、面接対策を実施。			
授 業 の 概 要			
《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界実務経験がある教員が担当する。デザイン業界の企業や職種を把握し、実際の就職活動前に自分の進路を決定する。自己分析を進め、各種応募方法を学び対策する。			
授業終了時の到達目標			
【専門知識スキル】：卒業後の希望進路について深く考え、就職活動する。内定を獲得することができる。 【社会人基礎力】：主体性、働きかけ力、実行力。就職活動を通して、自己に不足している力を見つけ、対応できる力を養う。			
回	テ ー マ	内 容	
1	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	
2	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	
3	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	
4	[PROGテスト実施]就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	[PROGテスト実施]一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	
5	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	
6	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	
7	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	
8	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	

回	テ ー マ	内 容
9	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時
10	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時
11	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時
12	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時
13	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時
14	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時
15	授業を振り返って	就職活動を振り返って自分が得たことと今後の展望をディスカッション。
教科書・教材		
予習・復習		
評価項目（評価の方法）		
【受講ルール等】 ：1、学生状況に応じて、資料配布は参考資料等をコピーして配布 2、課題提出は担任が改修、翌授業で必要があれば学生へ返却 【評価の観点】 ：1、必要出席率（８０％）を満たしていること 2、授業参加態度が良好であること 3、課題の提出結果が基準点に達しており、認（認定）であること 【その他】 ：3～4人のグループワークも適宜取り入れ実施 【評価項目（評価の方法）】 ：平常点（授業受講姿勢など）、課題評価、出席率。ただし出席率８０％に満たない場合、および必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。		
その他		
【授業運営方法】 講義、ディスカッションと実習 【持参物】 ：筆記用具、PC		